

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日：令和7年3月1日

ABUW春日（保育所等訪問支援）

利用児童数：20 回収数：15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	4		助言に加え、必要な掲示物を準備してもらえました。「どちらとも言えない」であっても大丈夫だと思います。それぞれの立場での思いや願い、ゴール像やそのための支援の工夫などは、必ずしも完全に一致するものではないと考えているので、お話はありがたく拝聴させていただいています。分かりやすい説明を毎回してくださいました。保育園で実践しやすい提案をしていただいて、ありがたかったです。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10	5		知識・技術は、専門的で大変優れている。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	14	1		対象児童の情報について、的確に回答してください。時間の関係で直接お話できる機会は少ないですが、書面での質問に対して返答しそれに対してのお返事もいただけるので、保育に活かしています。保育所としての活動も理解していたので、分かりやすい回答でした。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	4	3	対象の児童は、現在、落ち着いているところもあり、解消・軽減のものさしで見ることが難しい。少し軽減したように思います。本児の遊び方や友だちとの接し方の悩みがあったが、解消することが出来ました。	

5	事業所からの支援に満足していますか。	6	9	<p>対象の児童は、現在、落ち着いているところもあり、今後の支援については、精査する必要と感じている。</p> <p>保育所内での支援のみで十分足りていた為、あまり必要性を感じなかった。</p> <p>訪問支援員さんは、いつも丁寧にあいさつをしてくださり、子ども達を温かく見守ってくださっている。</p>	
<p>その他のご意見</p>				<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>保護者が希望するのであれば園への訪問を許可しますが、外部の人間を園内に入れることは好ましく思いません。それを国の決まりや制度だからといっても納得はしていません。</p>				<p>保育所等訪問支援は、障がいや発達の特徴を持つ子どもが園など集団生活の場で適切に過ごせるよう支援する制度であり、導入が推進されております。推進される要点を以下にまとめました。</p> <p>1. インクルーシブ保育の推進 障がいの有無に関わらず、すべての子どもが共に育つ「インクルーシブ教育・保育」の重要性が強調されています。しかし、現場では発達特性に応じた個別の配慮が難しい場合があり、専門的な支援が求められています。</p> <p>2. 園の負担軽減と専門性の補完 保育所や幼稚園の現場にて、障がいや発達支援の専門家が訪問支援を通じてアドバイスをを行うことで、園とも知識や情報を共有することができ、負担が軽減されます。</p> <p>3. 子どもの発達支援と集団適応の向上 個々の子どもに適した関わり方を考え、集団活動に適応できるよう支援することで、子どもの成長を促します。また、周囲の子どもたちとの良好な関係づくりにもつながります。</p> <p>4. 保護者への安心感と支援 専門家が関与することで、保護者も安心して子どもを預けることができます。また、保護者と園の間の橋渡し役となり、子どもの特性に応じた対応を共有することで、一貫した支援が可能となります。</p> <p>5. 早期支援による将来的な負担軽減 幼児期から適切な支援を受けることで、子どもが小学校以降の学習や生活にスムーズに適応できる可能性が高まります。早期対応により、将来的な特別支援の必要性を軽減する効果も期待されます。</p> <p>以上のことから、園様にもご理解とご協力をいただき、円滑にコミュニケーションを図らせていただけますと幸いです。</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	